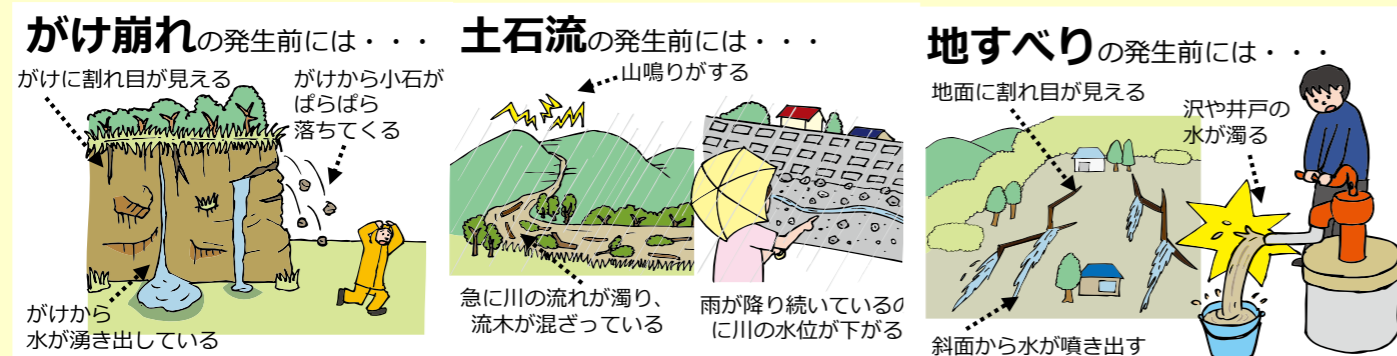


細工屋地区 自主避難行動

自主避難のポイント

- 土砂災害や河川の氾濫に関する危険情報（1ページ）を確認しましょう。
- 自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。（寸胴形の容器等を利用することで雨量の目安が把握できます）
- 土砂災害の前ぶれには一例として下記の現象があります。



- この様な現象を見に行くことは危険です。絶対にやめましょう。
- いつもと違う状況を確認したら、すぐに避難しましょう。
- 水害・土砂災害につながると思われる状況を確認したら、すぐに避難しましよ

自主避難の検討

災害時緊急避難地図を参照

- 1：地域内のがけや沢で土砂災害の前ぶれが確認された場合
- 2：地区内の水路から水があふれ出た場合
- 3：国道に大水が流れ始めた場合
- 4：川の近くの住宅は、川の増水を確認した場合、早めに避難行動をとる。
- 5：大きな地震があった場合、状況を確認し安全な場所に避難する。

田子字沢・寺沢は過去に災害があったため、周辺住民は早めの避難行動
細工屋地区の多くがハザード内（浸水・土砂）のため早めに警戒する
越本トレーニングセンターは浸水が想定されるため災害によって判断する

いざというときの避難対応

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

■ 地域内外にかかわらず、より安全と思われる場所への避難が可能なとき

➡ 村の指定避難所（越本トレーニングセンター）“状況により判断”へ避難

■ 遠くまで避難するのが危険な状況のとき

➡ 比較的安全と思われる場所や建物へ避難

■ すぐにでも身の安全を確保する必要があるとき

➡ 自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた最寄の建物の2階以上へ避難

片品村 細工屋地区防災計画

1. 基本方針

尾瀬かたしなエリアゼロカーボンパーク登録を機に宣言された「片品村5つのゼロ宣言2050」の柱である自然災害による死者ゼロを目指し、細工屋地区住民の防災意識をより高め、ハザードマップ等を主体的に活用し、住民自ら防災情報の取得を行うことにより死者ゼロを達成する。

2. 災害特性

土砂災害警戒区域および洪水浸水想定区域に隣接した場所に、多くの住宅が立地されている。

3. 平時の活動

平時から危険箇所や避難場所などの確認を行い、事前避難の必要性を認識する。なお、要配慮者の支援については福祉関係者会議で確認したとおり実施する。

4. 災害時の活動

組長を中心に消防団（救助、消火）班長（連絡、捜索）など公的支援が得られるまでの期間、協力して命を守る行動をとる。また、炊き出し、支援物資の仕分けなど状況に応じて協力して対応する。

5. 避難訓練

梅雨の時期になる前に、平時の活動を再確認し、「わたしの避難行動」による避難行動を訓練しておく。

6. 計画の構成

この計画の構成は以下の通りである。

- ・ 平時の活動として日ごろから気を付けておくこと（1ページ）
 - ・ 災害時緊急避難地図（2, 3ページ）
 - ・ わたしの避難行動（4ページ）☞ 平時にチェック、入力する
 - ・ 自主避難行動（5ページ）
- ※必要に応じて修正を行う。

平時の活動として日ごろから気を付けておくこと

！土砂災害の危険性 ～発生すれば逃げる間もなく家ごと破壊～



！土砂災害や河川の氾濫に関する情報 試しに今すぐ見てみよう！

群馬県土砂災害警戒情報

インターネット上で、自宅付近の土砂災害の危険度を見ることが出来ます。

<https://www.dosya-gunma.jp/sp/>

河川水位・雨量情報（かわみるぐんま）

インターネット上で、自宅付近の雨量や河川の水位情報を見ることが出来ます。

<https://mobile.suibou-gunma.jp/>

テレビデータ放送（dボタン）

リモコンの「dボタン」を押すと、気象情報などが確認できます。

出典：NHKHP

！片品村からの情報に注意

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、次のような情報が発表されます。

緊急安全確保 (警戒レベル5)	：命を守る行動をとる。
避難指示 (警戒レベル4)	：危険な場所から全員が避難をする。
高齢者等避難 (警戒レベル3)	：高齢者や障がいのある人は避難をする。

防災無線、個別受信機の情報に注意しましょう。

細工屋地区 わたしの避難行動

自宅は危険な区域に入っていますか▶「災害時緊急避難地図」を確認しましょう

私の家は 区域内（土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域） 区域外です。

▶区域内にチェックを入れた方は、以下のフローに従って避難してください。

▶区域外にチェックを入れた方は、③の行動を取ってください。

①雨が降り始めたら、雨や川の状況に注意を払う

土砂災害や河川の氾濫が起こる情報を確認できるようにしてください。（インターネットで雨や川の状況を見る。テレビのデータ放送をつける。）

②避難が必要な状態になったら避難する

私は テレビ インターネット その他 の情報をもとに

いつ 高齢者等避難・レベル3 避難指示・レベル4

誰と 一人で 家族と 地域の人と その他

※避難の呼びかけを近所の方に行いましょう

何で 徒歩で 車で その他

緊急避難：移動に危険を伴う場合は、自宅を含めてがけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上へ避難

事前避難：安全に避難できる場合は、少し遠くてもより安全な場所へ避難をします。

緊急避難（屋内退避・安全確保）

- 家の近くのコンクリート構造の建物
- 家の近くの2階以上の建物
- 家の中のがけや沢から少しでも離れた部屋

避難場所：

※避難中の被災を避けるための行動であり、建物ごと被災する可能性があります。事前避難を心がけましょう。

事前避難（立ち退き）

- 片品村が指定した避難場所へ避難
- 安全な親戚・知人宅へ避難
- 安全なホテル・旅館へ避難
- 車で安全な場所まで避難・その他

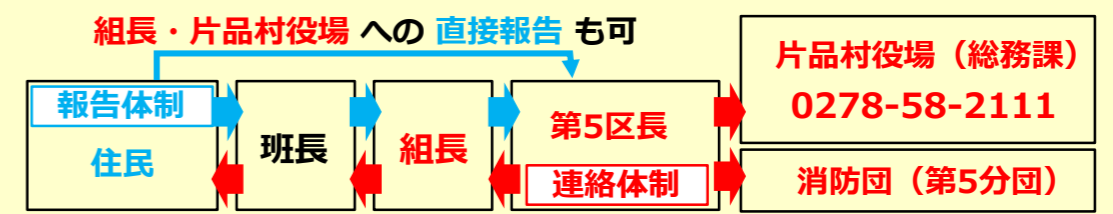
避難場所：

避難場所：

避難場所：

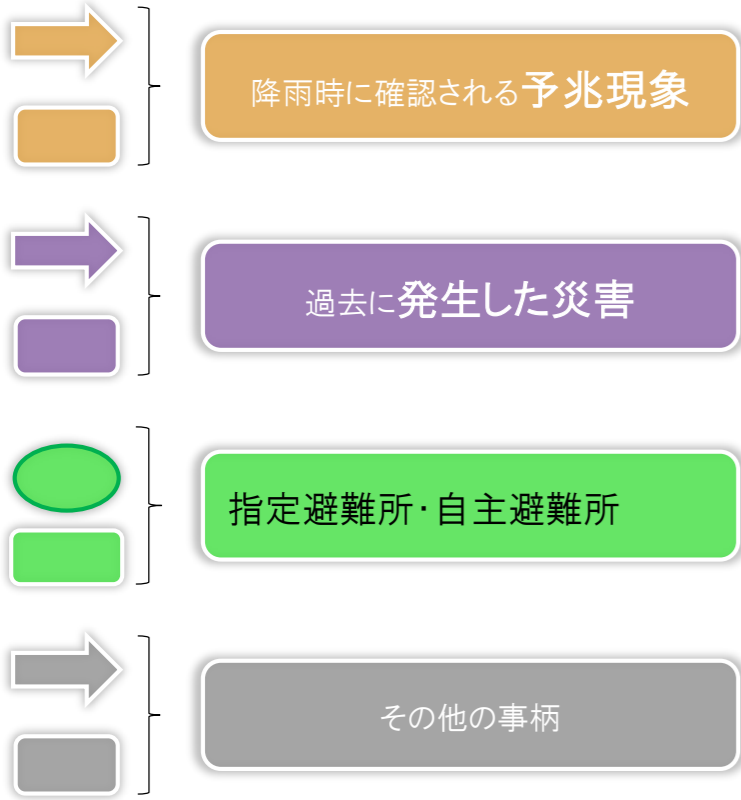
避難場所：

③安全が確保されたら報告体制に従い報告する。



片品村細工屋地区 災害時緊急避難地図

情報集約で把握した地域内の
土砂災害危険箇所
(令和6年6月時点)



凡例

境界	市町村境界	行政区境界
洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域等	
20m以上	土砂災害特別警戒区域(急傾斜)	
10.0m~5.0m未満	土砂災害警戒区域(急傾斜)	
5.0m~10.0m未満	土砂災害特別警戒区域(土石流)	
3.0m~5.0m未満	土砂災害警戒区域(土石流)	
0.5m~3.0m未満	土砂災害警戒区域(地滑り)	
0.5m未満		

0 150 300 450 600 750 m

1/8,000

